
第3の制服

3226 土屋史輝

第3の制服作成のきっかけ

令和3年度生徒会長選挙で土屋吏輝(つちやりき)の公約

- ・ 男子の学ラン着用強制
- ・ 女子のリボン着用強制 早急に変えるべきだと主張



校長先生をはじめとした多くの先生方が賛同
制服作成プロジェクトの始動

性的少数者について

また、「僕にはXジェンダーで詰襟着用強制に疑問を抱いている友人がおり、そのような悩みを抱えている人たちのための制服を作りたい」と公約で宣言

LGBTQ+とは

L→レズビアン

G→ゲイ

B→バイセクシャル

T→トランスジェンダー

Q→クエスチョニング

+…左の5つでは全てのセクシャリティを包括できないということを表しています

MRP(メイキングルールプロジェクト)

9月から本格的に始動→MRP(メイキングルールプロジェクト)発足

特設委員会の1つであるMRPとは、

目標：第3の制服作成（前半）
校則改正（後半）

委員：担当教員、中高生徒会役員、
有志生徒 合計36名

MRP発足→第3の制服導入まで

9月…MRP発足



// …制服業者と打ち合わせ



// …原案①完成



// …有志から意見をもらい、原案③を作成



10月…業者と打ち合わせ

10月…原案③を教職員に説明



11月…業者と打ち合わせ



// …生徒が職員会議で説明



12月 … 有志に第3の制服お披露目会

成果①

○3か月という短期間で第3の制服を完成させた

○学校全体がジェンダー問題に取り組むことができた

○在校生含めおよそ75人が購入した

成果②

- 下野新聞の一面で取り上げられ、Yahoo!ニュースに載る(2000件以上のコメント)
- 平野啓一郎さんや内田良さんがコメントするなど大きな反響を呼んだ

完成した制服








左…Ⅲ型 α 右…Ⅲ型 β



左から…
Ⅰ型・Ⅱ型・Ⅱ型・Ⅱ型・Ⅲ型 α ・Ⅲ型 β ・Ⅲ型 β

佐野高校の制服

I 型	II 型		III 型 α	III 型 β
				
学ラン	セーラージャケット		スーツジャケット (直線型)	スーツジャケット (曲線型)

第3の制服作成で気づいたこと

- ①当初は、「既存の制服着用強制に悩みを抱えている人のため」に作成する予定だったが、会議を重ねるうちに、その目的を限定してしまうと逆に差別を助長してしまうということに気づき、「全ての人が心地よい学校生活を送れるため」の第3の制服を作成するに方向転換した。

第3の制服作成で気づいたこと

- ②会議中で使用する言葉や、配布する資料の文言など差別的な表現を用いてないかという確認がかなり難しかった。
- ③制服は学校を象徴するものの1つであるため、制服作成の中で「統一感」を考えなくてはいけないことを知った。

MRPの様子①



MRPの様子②



MRPの様子③



最後に

たった3か月間で第3の制服を導入することができたのは、先生方や業者の方々などの協力があったからです。とても貴重な経験をすることができました。

最後に

私はこの先、自分と異なる者へ目を向けることが必要となると思っています。たとえその対象が少数派であったとしても、至極当然なことであると思います。これから多様性社会で生きる私たちが、学校全体でこのような取り組みができたことは価値あるものでした。

佐野高校の取り組みを知り、少しでも多様性理解が
深まっていけばと思います。



ご覧いただきありがとうございました